

棚田保全活動に参加し、環境意識の高い参加者にみどり戦略を周知

棚田保全活動に実際に参加するとともに、一緒に保全活動を行った学生や企業関係者に対し棚田の景観を背景に「みどり戦略」を説明、環境にやさしい農産物の購入を働きかけ。

○ 施策分類

- ・ 棚田地域振興関係・みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

- ・ 「棚田地域コンシェルジュ」として、指定棚田活動計画の作成主体（鞍掛山麓千枚田保存会）と意見交換を実施。
- ・ 専門学校の学生や地域外の企業が指定棚田（四谷の千枚田）の保全活動に参加していることを把握。棚田保全活動と親和性があると考え、参加者への「みどり戦略」の周知を企画。

○ 取組の内容

- ・ 棚田保全活動（田植え、外来生物駆除）に県拠点と愛知県、新城市が参加。
- ・ 一緒に田植えを行った専門学校（豊橋調理製菓専門学校）の学生や、一緒に外来生物駆除を行った応援企業関係者に対し、棚田の果たす機能を説明するとともに、「みどり戦略」の内容や環境にやさしい農産物を購入する重要性を周知。

○ 効果、今後の方向性

- ・ 将来「食」を担う専門学校の学生や、環境保全に関心のある消費者に「みどり戦略」を周知することができた。保全活動で一緒に汗を流した後、棚田の景観を眺めながら説明したことで、拠点の思いがより一層伝わった。
- ・ 今後も、棚田保全活動に積極的に参加するとともに、棚田保全活動のような農業・環境問題に関心の高い者が集まる機会を捉え「みどり戦略」の効果的な周知を図る。



豊橋調理菓子専門学校の1年生26名に対してみどり戦略等の説明風景



棚田保全活動を行った地元企業の生物多様性チームとの集合写真

